2026 年 11 月 17 日

各　位

会 社 名　ＵＬＳグループ株式会社
代表者名　代表取締役社長 横山 芳成
（東証スタンダード・コード 3798）
問合せ先　取締役ＣＦＯ 高橋 敬一
電話番号　03-6220-1416

『ULS コンサルティング、日本 IBM とパートナーシップを締結、AI エージェント駆動の開発支援パートナー「IBM Bob」を活用したモダナイゼーション支援を開始』に関するお知らせ

当社連結子会社の ULS コンサルティング株式会社は、本日付で掲題のプレスリリースを行いましたのでお知らせいたします。詳細につきましては、添付の報道発表資料をご参照ください。

なお、本件による 2027 年 3 月期の当社連結業績予想の変更はございません。今後開示すべき事項が生じた場合には速やかにお知らせいたします。

報道関係者各位

プレスリリース

2026 年 11 月 17 日

ULS コンサルティング株式会社

ULS コンサルティング、日本 IBM とパートナーシップを締結、AI エージェント駆動の開発支援パートナー「IBM Bob」を活用したモダナイゼーション支援を開始

ULS コンサルティング株式会社（本社：東京都中央区、代表取締役社長：横山芳成、以下、ULS コンサルティング）は、このほど日本アイ・ビー・エム株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長：村田将輝、以下、日本 IBM）と AI パートナーシップを締結しました。これに伴い、日本 IBM が提供する AI エージェント駆動の開発支援パートナー「IBM Bob」および IBM Bob の拡張機能群であるプレミアム・パッケージを活用した、基幹業務システムのモダナイゼーション・コンサルティングサービスの提供を開始します。

いわゆる「2025 年の崖」でも指摘されてきたレガシーシステムのブラックボックス化は、多くの日本企業にとって重要な経営課題となっています。長年の運用によるシステムと仕様書の乖離や、システム全体を把握する技術者から次世代への知識・スキル継承などへの対応が求められています。こうした課題への対応手段の一つとして、システムの解析や改修、モダナイゼーションにおける AI 活用への期待が高まっています。

一方、汎用的な生成 AI や AI エージェントだけでは、長年にわたって構築されてきたメインフレームや IBM i などのシステム固有のアーキテクチャ、複雑な依存関係、専門的な開発・運用ノウハウまで十分に捉えることは容易ではありません。そこで当社が着目したのが、AI エージェント駆動型のエンタープライズ向け開発支援パートナーである IBM Bob です。

IBM Bob は、Java や Python などのモダンな開発言語に加え、レガシー資産のモダナイゼーションへの対応も可能です。特に IBM Bob のプレミアム・パッケージは、IBM Z や IBM i に固有の専門知識、ツール、Skills、ワークフローを組み合わせることで、COBOL、PL/I、RPG などで構成された既存システムの解析、ドキュメント化、改修、モダナイゼーションを支援します。これまで高度な専門知識と多くの人的工数を必要としてきた基幹業務システムの可視化・解析・メンテナンスの効率化や、リスク低減を図りながら最新環境へ移行するレガシーモダナイゼーション、透明性と保守性を高め、既存環境を活かしながら安定運用を継続するクリーンレガシーなど、お客様ごとのビジネス要件に応じた最適な戦略の実行を支援します。

ULS コンサルティングは、エンタープライズ分野における基幹業務システムの開発・運用や AI エージェントを用いた AI 駆動開発に関する実績・知見と、IBM Bob およびプレミアム・パッケージを組み合わせることで、お客様の状況に応じたモダナイゼーションを支援します。

- **レガシー資産の仕様可視化・ドキュメント化支援**
  COBOL や RPG で書かれた既存プログラムを IBM Bob で解析し、仕様書やデータフロー図を作成します。複雑化・属人化した業務ロジックやシステム構造を可視化し、ブラックボックスの解消と技術継承を支援します。

- **モダナイゼーションに向けた依存関係・リスク分析**
  プログラムやデータの依存関係、変更時の影響範囲、複雑性などを IBM Bob で分析します。モダナイゼーションの優先順位や着手ポイントを明確にし、リスクを抑えた段階的な移行計画の策定を支援します。

- **レガシーシステムの改修・モダナイゼーション支援**
  IBM Bob による解析結果を活用し、既存システムの改修やリファクタリング、モダンなアーキテクチャへの移行を支援します。お客様のビジネス要件やシステム特性に応じた最適なモダナイゼーションを実現します。

日本アイ・ビー・エム株式会社 執行役員 テクノロジー事業本部 エコシステム共創本部長 村澤賢一氏は次のようにコメントしています。
「AI 駆動開発を積極的に推進する ULS コンサルティング様とのパートナーシップ締結を大変嬉しく思います。両社の強みと知見を結集し、AI 技術を単なる効率化の手段にとどめることなく、お客様の競争力強化や事業変革を支える本質的なビジネス価値としてお届けしてまいります。特に、IBM Bob を活用したモダナイゼーション領域においては、企業の重要なシステム資産の価値を最大限に引き出しながら、AI 時代にふさわしい次世代環境への変革を加速し、お客様の持続的な成長とイノベーションの実現に貢献してまいります」

ULS コンサルティング 取締役副社長の桜井賢一は次のようにコメントしています。
「当社はこれまで、AI エージェントを活用した AI 駆動開発を推進してまいりました。その中で多くのお客様から寄せられたのが、COBOL をはじめとするレガシーシステムへの対応に関するご相談です。長年稼働してきた基幹システムは企業の屋台骨である一方、ブラックボックス化した仕様の把握や、次世代へのスキル継承が課題となっています。IBM Bob とプレミアム・パッケージの活用を通じて、既存システムの理解やモダナイゼーションを支援する新たなアプローチを提供していきたいと考えています。すべてをオープンシステムへ作り直すことだけを前提とせず、既存資産を活かしながら透明性と保守性の向上

を目指すクリーンレガシーを含め、より現実的な選択肢をお客様とともに検討してまいります。日本 IBM 様との連携のもと、お客様のシステム資産を未来へつなぎ、持続的な成長とビジネス変革に貢献できるよう支援してまいります」

ULS コンサルティングは、長年培ってきたコンサルティングの知見と AI 技術を融合させ、日本企業が直面するシステム課題に対応し、モダナイゼーションの実現に貢献してまいります。

■ULS コンサルティング株式会社について

ULS コンサルティング株式会社は ULS グループ株式会社（東証スタンダード・コード 3798）の中核子会社です。ビジネスとテクノロジーに関する卓越した知見と、お客様とともにプロジェクトを推進する独自スタイルのコンサルティングでお客様のビジネス変革・創出を成功に導いています。2000 年の創業以来、ビジネスモデルの創出、事業戦略の立案、組織・業務の改革、システムの企画・開発、AI 活用支援および AI 駆動開発、プロジェクトマネジメント、先端技術活用など多岐にわたるテーマを手掛けています。

会社概要

会社名	ULS コンサルティング株式会社
本社	〒104-6014 東京都中央区晴海 1-8-10　トリトンスクエア タワーX 14 階
代表者	代表取締役社長　横山　芳成
事業概要	戦略、オペレーション、テクノロジーに関するコンサルティングの提供
創業	2000 年 7 月 25 日
資本金	1 億円（2026 年 3 月 31 日現在）
URL	https://www.ulsconsulting.co.jp/

＜本件に関するお問い合わせ＞
ULS コンサルティング株式会社　コーポレートコミュニケーション室
TEL：03-6220-1400 / E-Mail：pr@ulsconsulting.co.jp